

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み

ガバナンス

データ集

Scope1・2温室効果ガス SBT認定取得 TCFD提言に沿った情報開示 JFR環境マネジメント体制の構築 温室効果ガス削減取り組み策 → ESGモデル店舗

ESGモデル店舗

ESGフラッグシップ店舗 大丸心齋橋店本館

大丸松坂屋百貨店は「持続可能な社会の実現」に向け、環境に配慮した店づくりを推進しています。ESGフラッグシップ店舗である大丸心齋橋店本館は、環境に配慮した様々な取り組みを展開しています。

再生可能エネルギー使用率100%

大丸心齋橋店本館は、館内で使用するすべての電力に再生可能エネルギーを使用しています。その結果、照明や空調、設備機器の電力使用による温室効果ガス排出量はゼロとなりました。これにより、2015年度の旧本館と比較*して、温室効果ガス約7,000t-CO₂を削減しました。また、南館も再生可能エネルギー電力に切り替え、これにより、基準年となる2017年度比で、約1,800t-CO₂を削減しました。さらに現在改装のため休業中の北館においても、再生可能エネルギー電力への切り替えを計画しており、これにより、北館の温室効果ガス排出量は、同じく2017年度と比較して、約9,200t-CO₂の削減を見込んでいます。

今後は、再生可能エネルギー使用率100%の百貨店店舗としての取り組みを、大丸松坂屋百貨店の全ての店舗に導入し、再生可能エネルギーのシェアを拡大していきます。

* 本館建替えのため、建物構造は同一ではありません

省エネの取り組みと社用車のEV化

大丸心齋橋店本館の館内照明は、バックヤードも含めて100%LED化を実現しました。LED化により、これまでの蛍光灯と比較してエネルギー消費量5分の1に減少することが見込まれます。LED化は短期的な温室効果ガス削減、長期的な省エネルギーの2つの観点から、重要な取り組みの一つであると考えています。

また、大丸心齋橋店が管理するお客様営業部の社用車70台をEV車に切り替えました。これによる温室効果ガス排出量は、基準年となる2017年度比で、約190t-CO₂を削減しました。EV車の充電に使用する電力も再生可能エネルギー電力を使用します。

その他低炭素社会への貢献に向けた取り組み

その他、館内物流の一括管理による納品作業の効率化、環境配慮型包装資材の利用などの取り組みを実施しました。また、建替えにともなって設けられる7階テラス(約110m²)と屋上スペース(約900m²)では、積極的な緑化を実施しています。

また、グランドオープン時には、期間限定の大丸心齋橋店オリジナルデザインエコバッグをチャリティ販売しました。これは、世界の名だたるファッション誌でイラストを手がけるアーティスト、ジェイソン・ブルックス氏によって、新

しい大丸心齋橋店が描かれたエコバッグです。その売上の一部は、2019年12月に「なにわの芸術応援募金」へ寄付しました。



大丸心齋橋店本館

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み

ガバナンス

データ集

Scope1・2温室効果ガス SBT認定取得 TCFD提言に沿った情報開示 JFR環境マネジメント体制の構築 温室効果ガス削減取り組み策 → ESGモデル店舗

サステナブル都市型ファッションビル 新生渋谷パルコ

2019年11月に建替え開業した渋谷パルコでは、「周辺地区とのにぎわい創出」「環境負荷低減」「多様な企業・個人との協業」によるサステナブルなグローバルショッピングセンターの実現を目指します。

また、渋谷パルコは、都市型ファッションビルにおける省CO₂リーディングプロジェクトとして、以下の3点が評価され、国土交通省より「サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)」として採択されました。

屋外空間(緑の立体街路)による省CO₂

渋谷パルコにおいては、都心に立地するファッションビルでありながら、高品質な屋外空間(緑の立体街路・屋外広場)を整備することで、施設における回遊性と滞留性を確保することで、お客様の健康増進や建物の省CO₂の促進に寄与します。

高効率なエネルギーシステムの構築

コージェネレーション*を中心とした高効率なエネルギーシステムを構築することで、省CO₂の最大化をはかります。

中庄コージェネレーションシステムによる排熱は、排熱投入型熱源で利用するだけでなく、劇場の空調や加湿にも利用することで、余すところなく活用されます。各種データを活用し、エネルギーサービス事業者による遠隔管理やミックス熱源運用シミュレーションを実施し、スマートエネルギー管理の実現やCO₂低減に貢献します。

さらに、災害時には、安定したエネルギーの効率的供給

を行い、災害発生後72時間持続可能なビルとして機能します。

※ 熱源より電力と熱を生産し供給するシステムの総称

省CO₂の情報発信拠点

新生渋谷パルコは、エネルギー管理システムやセンシング技術を活用し、各種エネルギーや外部環境情報をわかりやすく「見える化」し、ICTコミュニケーションツールでお客様やテナントスタッフへそれぞれ情報発信することで、省CO₂や健康増進の普及を促進するデジタルコミュニケーションビルを実現しています。

また、ディベロッパーとエネルギーサービス事業者とテナントが連携した省CO₂推進体制を構築することで、実効的かつ長期的な省CO₂活動の継続を目指します。



環境に配慮した次世代型ビル渋谷パルコ